

日本各地の皆様からのご要望に応じて、今まで下記のようなテーマで講座を実施してきました。

実施地域	
【北海道】	4箇所 (2001より)
【東北】	46箇所 (1990より)
【関東】	243箇所 (1990より)
【中部】	77箇所 (1981より)
【近畿】	22箇所 (2001より)
【中国】	22箇所 (1994より)
【四国】	11箇所 (1989より)
【九州】	19箇所 (1987より)

主な講座内容

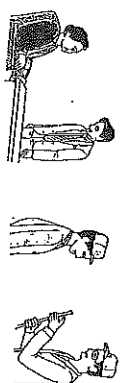
【多文化共生社会と日本語ボランティア】
 在住外国人の現状／外国人支援の現状と課題／外国人支援の事例報告
 外国人とのコミュニケーション／異文化理解／地域住民としての外国人と日本人の交流／
 何のために日本語を教えるのかー共に学ぶ姿勢／日本語ボランティアの心構え 等々

【日本で生活する外国人への日本語支援】
 学習者のニーズや日本語力の把握のしかた／学習者のレベルチェック／
 地域日本語教室のコースデザイン／地域の日本語指導の実践を通して／
 媒介語がない学習者への対応／リソース型生活日本語の紹介と活用・加工について／
 対話交流による日本語支援／不定期参加・個別等の形態で学習効果をあげる方法／
 初級日本語の指導法／初級レベルを終了している学習者への日本語支援／
 模擬授業ワークショップ／教材・副教材の選び方と活用法／教材を作るには／
 多様化する学習者に対応するさまざまな指導法／初・中・上級レベル別支援／
 技能別日本語力の高め方(聞く／話す／読む／書く)／能動受検支援／
 支援に役立つ日本語の文法／外国人が陥りやすい誤用例と対処法／発音指導の方法 等々

【日本で働く外国人への日本語支援】
 職場のコミュニケーションに役立つ日本語支援／現場の安全のための日本語支援
 職場の生活や習慣への適応支援 等々

【講座の一例より】
 「現場で働く外国人のための日本語支援を考える」

- 上司や同僚との良好な関係
- 危険の回避
- 指示の理解



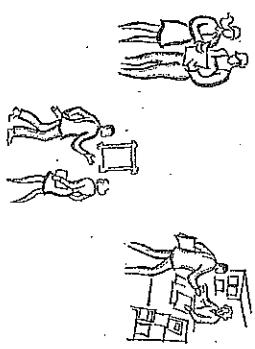
【日本で学ぶ子どもたちへの日本語支援】
 地域の中小学校に入学・編入した子供たちへの初期日本語支援／学校生活適応支援／
 生活言語と学習言語／教科学習の支援／「リソース型生活日本語」一親子日本語教室の実践 等々

【教室における学習型別】
 自治体や国際交流協会主催の日本語教室など活動現場で、事前指導—日本語支援実習—振り返りを実施
 現状を見直し、支援力の向上を図る

【教室のコーディネート】
 支援者同士の課題共有とピアサポート／支援力向上のためのワークショップ／ボランティアの持続／
 活性化や新規ボランティアの募集／日本語支援活動の企画・運営／地域の日本語教室と運営／
 地域日本語教育とコーディネートとは／地域日本語教育コーディネーターに求められる知識と能力／
 ネットワークの構築と活用／ボランティア活動の基本姿勢／日本語支援に関する情報交換 等々

【講座の一例より】
 「地域に暮らす外国人への日本語支援」

- ボランティア活動に役立つ基礎知識
 ~日本語の50音や文のしくみを外国人にわかりやすく
- 外国人が地域住民として日本人と交流するための支援
 ~自己紹介、自分の国や趣味について話すために
- 外国人が生活上、必要とする日本語の支援
 ~買い物、交通、病院、余暇などの場面で



【講座の一例より】
 「年少者への漢字支援～漢字の壁を超えるために」

- 配当漢字を意味のまとまりで再構成
- 絵で理解・認識・読み・書きの段階学習
- クイズやゲーム、音話で楽しく定着
- 小学校1,006字をもとに教科学習の基礎づくり

